

2024 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 医療心理科 | | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 講義 |
|--|------------|-----------------|--|-----------------|-----------------------|---------------|
| 科 目 名 | 精神保健福祉総論VI | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (2) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 2年 | | 学期及び曜時限 | 後期 | 教室名 | |
| 担 当 教 員 | 岡井 豪 | 実務経験と その関連資格 | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 精神保健福祉士国家試験を受験し、かつ、合格することを目標とする。そのため、国家試験に合格するための、学習方法や基礎知識の獲得・習得をねらう。更には、独学方法を身に付けることとする。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 出欠・授業への参加度、発表の内容、課題提出、小テスト、期末試験(レポート)で総合的に評価する。 | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| レジュメ配布 | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 配布し、指定した資料を通読する。また、その資料に重要箇所と思えるところは、マーカーをつけておく。配布した過去問題を解くとともに、誤文については誤り箇所を下線を入れておく。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 国家試験へ向けて学習を重ねることを念頭に授業に臨んでほしい。継続的な復習に取り組んでほしい。 | | | | | | |
| 授業の 方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 授業の進め方を理解し、予習の必要性を理解する。 精神保健福祉士国家試験のアウトラインを把握する | レジュメ 過去問プリント | 配布資料を通読 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 授業説明・直近国試の概要 | | | |
| 第2回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 問題を説くための基礎知識を理解することにより、問題を解くことに積極的になることができる。 | レジュメ 過去問プリント | 配布資料を通読 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 問題を解くための基礎知識 | | | |
| 第3回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 事例(ショート・ロング)の問題を解くことにより、解き方を体得し、問題を解く抵抗感をなくすようになる。① | レジュメ 過去問プリント | 配布資料を通読 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 事例(ショート・ロング)の問題の解き方① | | | |
| 第4回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 事例(ショート・ロング)の問題を解くことにより、解き方を体得し、問題を解く抵抗感をなくすようになる。② | レジュメ 過去問プリント | 配布資料を通読 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 事例(ショート・ロング)の問題の解き方② | | | |
| 第5回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 障害者総合支援法の概要に関する問題(難問のもの)にチャレンジし、知識のアウトプットができるようになる。① | レジュメ 過去問プリント | 配布資料を通読 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 障害者総合支援法の概要について① | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|--|-----------------|-------------------|
| 第6回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 障害者総合支援法の概要に関する問題(難問のもの)にチャレンジし、知識のアウトプットができるようになる。② | レジュメ 過去問プリント | 配布資料を通読 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 障害者総合支援法の概要について② | | |
| 第7回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 社会理論と社会システムに関する問題に触れることにより、苦手意識を克服できるようになる。① | レジュメ 過去問プリント | 配布資料を通読 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 社会理論と社会システムに関する出題傾向について | | |
| 第8回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 社会理論と社会システムに関する問題に触れることにより、苦手意識を克服できるようになる。② | レジュメ 過去問プリント | 配布資料を通読 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 社会理論と社会システムに関する出題傾向について② | | |
| 第9回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 現代社会と福祉に関する問題に触れることにより、苦手意識を克服できるようになる。① | レジュメ 過去問プリント | 配布資料を通読 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 現代社会と福祉に関する出題傾向について① | | |
| 第10回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 現代社会と福祉に関する問題に触れることにより、苦手意識を克服できるようになる。② | レジュメ 過去問プリント | 配布資料を通読 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 現代社会と福祉に関する出題傾向について② | | |
| 第11回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 各種、虐待防止法を知ることにより、科目横断的に出題されている実態を把握することにより、解答時の戸惑いをなくすことができる。① | レジュメ 過去問プリント | 配布資料を通読 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 各種、虐待防止法に関する出題傾向について① | | |
| 第12回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 各種、虐待防止法を知ることにより、科目横断的に出題されている実態を把握することにより、解答時の戸惑いをなくすことができる。② | レジュメ 過去問プリント | 配布資料を通読 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 各種、虐待防止法に関する出題傾向について② | | |
| 第13回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 各種、障害者手帳に関する知識を付けることによる、国家試験の問題を解けるようになる。① | レジュメ 過去問プリント | 配布資料を通読 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 各種、障害者手帳に関する出題について① | | |
| 第14回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 各種、障害者手帳に関する知識を付けることによる、国家試験の問題を解けるようになる。② | レジュメ 過去問プリント | 配布資料を通読 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 各種、障害者手帳に関する出題について② | | |
| 第15回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 後期の授業内容の不明点をなくし、後期の授業内容を理解する。 | レジュメ 過去問プリント | 配布資料を通読 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 後期の復習 | | |